

大信の現状に
ついては
こちらから

大東京信用組合 2022年3月期 ディスクロージャー誌 〈情報編〉

大信 Report

2022

大信の現状を知る編

2021年4月1日から
2022年3月31日まで



金融機関としての社会的責任と お客さま本位の



会長 柳沢 祥二

皆さまには平素より大東京信用組合に格別なご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も当組合へのご理解を一層深めていただくため、1年間の活動をご報告する「大信Report2022」を作成いたしました。

本誌では、当組合の経営方針、地域のお客さまへの取組み、令和3年度の業績などについて紹介しておりますので、是非ともご高覧賜り、当組合に対するご理解をさらに深めていただければ幸甚に存じます。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で度々発出されていた緊急事態宣言並びにまん延防止等重点措置が、ワクチン接種の加速化等により感染者数が減少したことから、9月末にはすべて解除され、景気面でも10-12月期の実質GDPが前期比+1.1%となるなど回復に向けて明るい兆しが見えつつありました。

しかしながら、年明けからオミクロン株を中心とした感染の再拡大により3回にわたるまん延防止等重点措置が発出され、特に飲食・宿泊等の対面によるサービス業においては依然厳しい状況が続いております。加えて、2月にはロシアによるウクライナ侵攻の影響により、原油・原材料価格の高騰や円安が進み、国際情勢の混沌さは増しており、世界経済の不確実性は一層高まっております。

このような中、当組合の主な取引先である中小企業・小規模事業者においても依然として厳しい状況に立たされております。これまで永年にわたって当組合を応援していただいたお客さまが厳しい状況にある時こそ、しっかり寄り添い、金融支援に加えて事業の継続と課題解決等に向けた本業支援に全力で取り組んでおります。

経営理念

大東京信用組合は、地域に密着し
地域社会に奉仕する。

私たちは、社是として「信条」を定めており、組合員、お取引先の皆さまとの「心・ふれあい(ハート・トゥ・ハート)」の信頼関係を大切にまいります。

また、中小企業金融の円滑化と地域経済の活性化に取組み、良質な金融サービスの提供と信用組合ならではの独自性の発揮に努め、ベストパートナー・バンク(身近で頼りになる大信)を目指し、地域社会とともに歩んでまいります。





公共的使命を念頭に、 業務運営に努めてまいります。

令和3年度の業績につきましては、お客さまへの積極的な資金支援を実施した結果、預金、貸出金ともに前年とほぼ同水準で推移しました。収益面では事業計画値を上回る結果となり、健全性を示します不良債権比率は引き続き低い水準で推移し、一方の自己資本比率は高い水準を堅持しております。

また、「人材の育成」を中心に「経営体質の強化」「収益構造の再構築」を重点施策として掲げ、令和元年度から推進してまいりました「新・第2次中期経営計画（Zプラン）」は3月をもって終了いたしました。

お陰様で、概ね計画通り進捗いたしました。期中での思いもよらない新型コロナウイルス感染症の流行などにより残された課題もございます。

当組合といたしましては、諸課題への対応を的確に図りながら、今後ともお取引先の皆さまのさらなる成長・発展に十分に貢献してまいりたいと存じます。

当組合は本年9月に創立70周年を迎えます。これまで支えていただきましたお客さまへの感謝と地域経済のますますの発展に貢献し、頼りにされる金融機関を目指して役職員一同、全力で取り組んでまいり所存でございますので、一層のご指導、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

大東京信用組合 会長 柳沢 祥二
理事長 内田 通郎



理事長 内田 通郎

組合概要

名 称	大東京信用組合 (略称：大信)	自己資本の額	33,940百万円
所 在 地	東京都港区東新橋2-6-10	自己資本比率	9.75%
創 立	1952年9月6日 (昭和27年)	店 舗 数	41店舗
理 事 長	内田 通郎	職 員 数	593名
出 資 金	14,295百万円	営 業 地 区	東京都一円 (離島を除く)
組 合 員 数	99,244名	事 業 内 容	預金・融資・内国為替・ 外国為替(取次)・ 代理業務・国庫金収納・ その他
総 資 産	690,873百万円		
預 金 残 高	649,658百万円		
貸 出 金 残 高	343,487百万円		

(計数は令和4年3月末現在)

大信の現状を知る編

目次 CONTENTS

- P 1 トップメッセージ
- P 2 組合概要
- P 3 大信のCSR
- P 4 令和4年3月期 業績概況
- P 7 財務諸表
- P 8 役職員の状況・組織図
- P 9 大信1年のあゆみ・沿革
- P 11 都内にひろがる
大信のネットワーク
- P 13 主な手数料一覧

大信のCSR (企業の社会的責任)


地域金融機関の最大の地域貢献は、その地域で健全であり続けることです。地域になくてはならない『大信』を目指してまいります。

お客さま
(組合員の皆さま)



- お客さま本位の業務運営
- 安全性・利便性の追求
- 金融仲介・コンサルティング機能の強化
- お客さま満足度の向上

組合章について



「信」の字を図案化したもので、3片の太い線がこれを囲んでいます。「信」の字は金融機関の生命である「信用」「信頼」「信義」を表わし、同時に信用組合の頭文字でもあります。3片の形は、古代貨幣(金棒)の組合せであって、組合・組合員(お客さま)・職員の3つを表現して、これらが三位一体となって相協力し、「信」を囲んで護りながら、益々業務の発展を期することを象徴的に表現しています。

大信



- 経営力・組織力の強化
- 内部管理態勢の強化
- 人材の育成・活用

組合員
(お客さま)

組合
(大信)

職員



お客さまの“気付き”をサポートいたします。

職員



- 働きやすい職場環境の確立
- 役職員間の円滑なコミュニケーション・対話・良好な人間関係
- 職員のモチベーションの高揚

地域

地域への円滑な資金供給
地域とのネットワーク
地域との結びつきの強化
地域における存在感
地域貢献活動

今こそ、**協同組織金融機関である信用組合の良さが再認識され必要とされる時代です。**

「**変わっていくもの、変わらないもの**」
～未来に向かって、受け継がれるバトンリレー～



信用組合の理念・責務は不易であり、相互扶助の精神を持って、大信はこれからも、地域社会の発展に貢献いたします。

① 預金・貸出金の状況

■ 預金残高・貸出金残高の推移

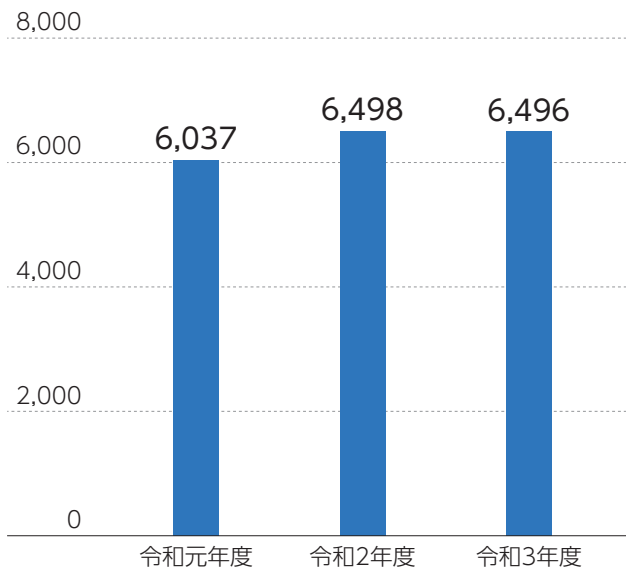


信用のバロメーターとも言うべき預金残高は、多くのお取引先の皆さまからご信頼をいただき、前年同期とほぼ同水準の6,496億円となりました。

また、貸出金残高は、コロナ禍において中小企業・小規模事業者への円滑・迅速な資金供給に取り組みました結果、前年同期とほぼ同水準の3,434億円となりました。今後もお取引先からのニーズに対して安定的な資金供給に努めてまいります。

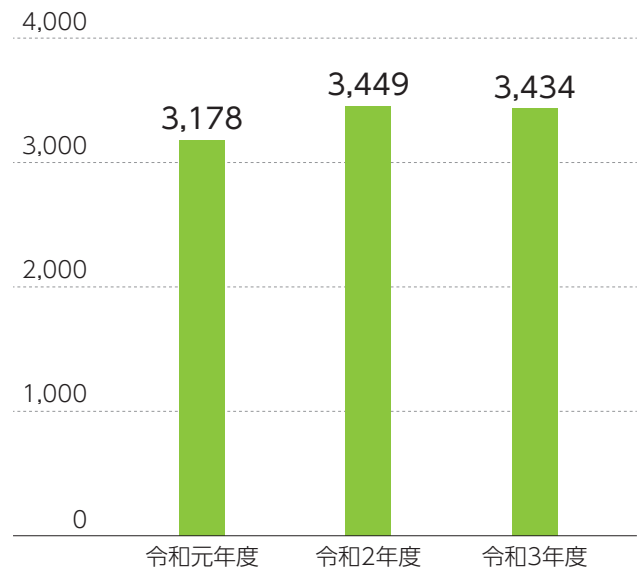
預金残高

(単位:億円)



貸出金残高

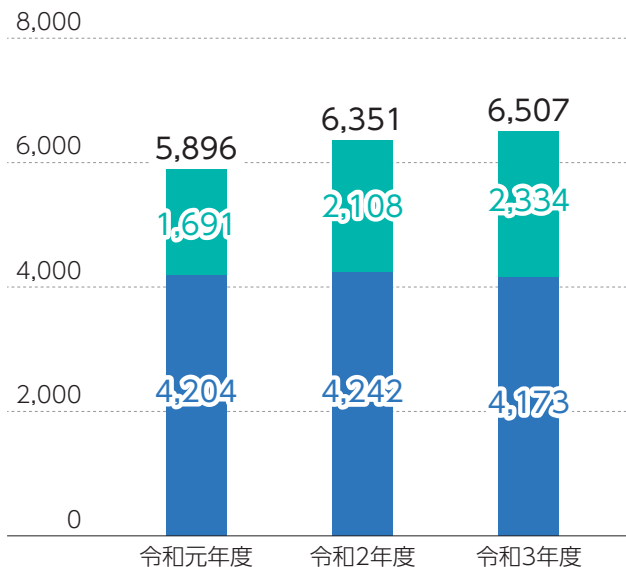
(単位:億円)



預金種目別平均残高

(単位:億円)

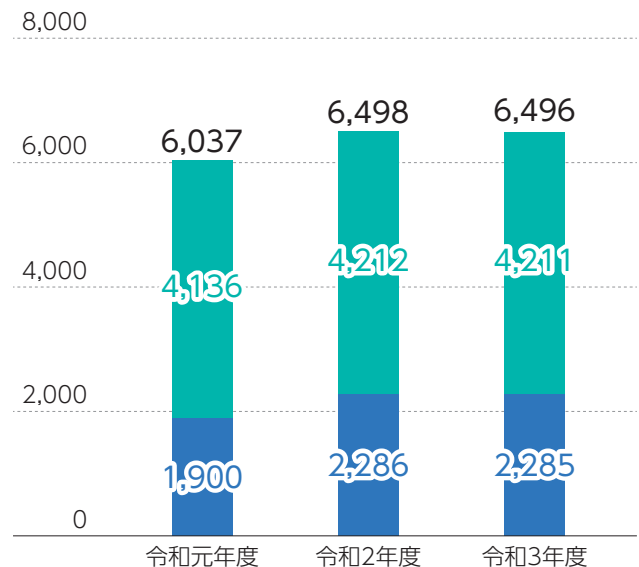
■ 流動性預金 ■ 定期性預金



預金者別預金残高

(単位:億円)

■ 個人 ■ 法人



② 収益の状況

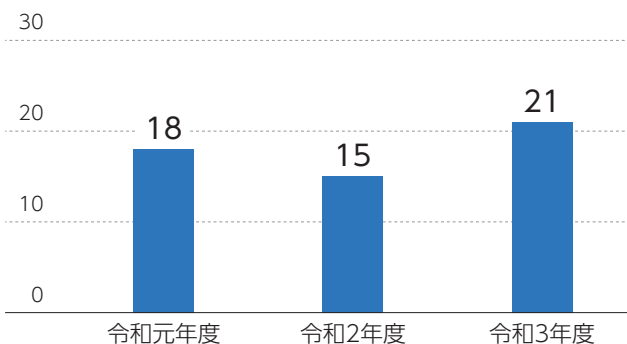
■ 業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移

業務純益 21億円 コア業務純益 20億円 経常利益 25億円 当期純利益 16億円

厳しい経済環境の中、本業である預貸金業務に特化した事業展開に取り組むとともに経費の削減等経営の合理化に努めました結果、業務純益は21億38百万円、コア業務純益は20億35百万円、経常利益は25億4百万円、当期純利益は16億21百万円となり、利益3部門及びコア業務純益は全て前年同期を上回りました。

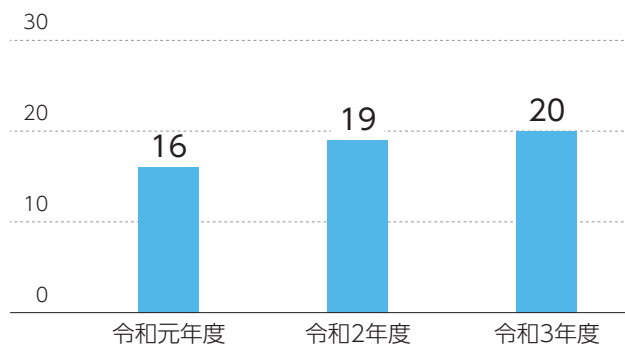
業務純益

(単位:億円)



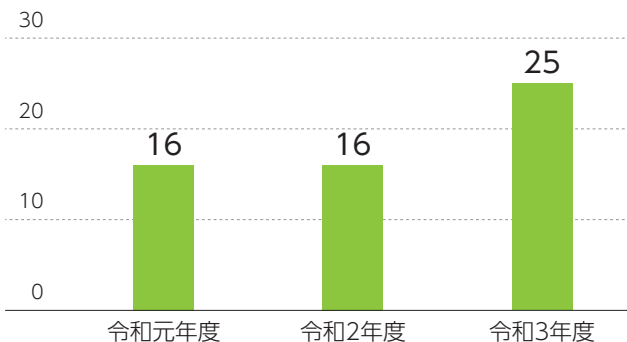
コア業務純益

(単位:億円)



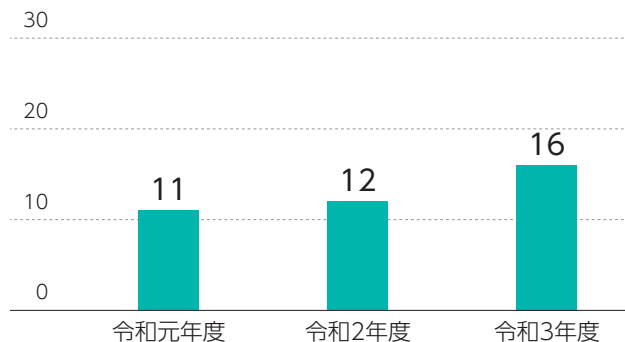
経常利益

(単位:億円)



当期純利益

(単位:億円)



用語解説

■ 業務純益

金融機関の基本的業務に係る利益です。

■ コア業務純益

「業務純益」から金融環境次第で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」及び「国債等債券売却損益」を控除したものであり、より実質的な金融機関本来の業務による利益を表しております。

■ 経常利益

通常の営業活動に係る利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。

■ 当期純利益

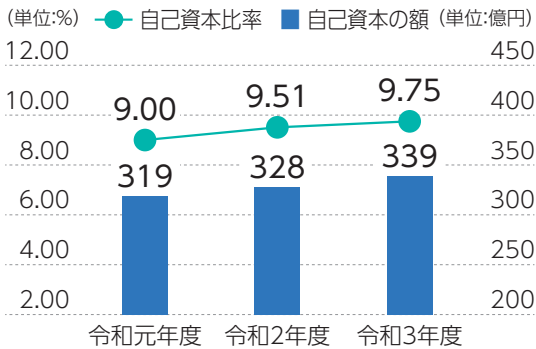
経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益で、最終的な利益を表します。



③ 自己資本比率の状況

■自己資本比率と自己資本の額の推移

自己資本比率 **9.75%** 自己資本の額 **339億円**



自己資本比率とは、リスク・アセット(保有する資産にその安全度に応じた掛目を乗じた金額)などに対して、出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性を表す代表的な指標です。当組合の自己資本比率は、前年同期に対して0.24ポイント上昇し9.75%となり、国内基準を大きく上回っております。

自己資本比率の算出

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な経営指標です。信用組合には国内基準が適用され、4%以上であることが求められています。

●自己資本比率の求め方

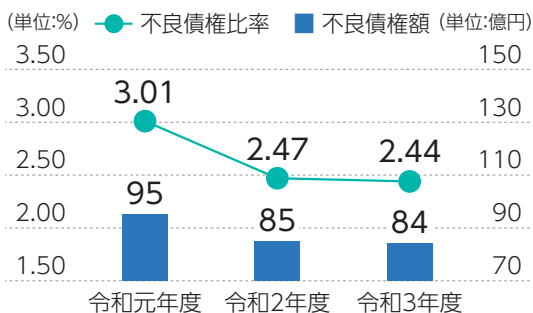
$$\frac{\text{自己資本の額 (339億円)}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額 (3,480億円)}} \times 100 = 9.75\%$$



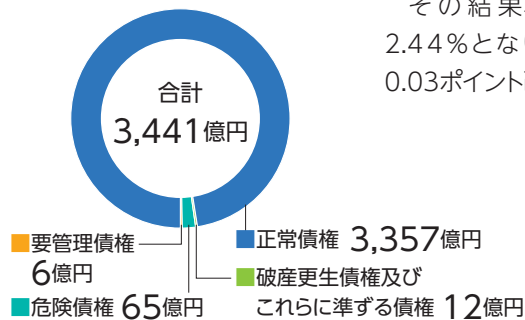
④ 不良債権の状況

■不良債権比率と不良債権額の推移

不良債権比率 **2.44%** 不良債権額 **84億円**



正常債権 **3,357億円**



お取引先に対する円滑な資金供給と経営改善・再生支援、オフバランス化等に取り組み、不良債権額は前年同期に対して約1億円減少し84億円となりました。

その結果、不良債権比率は2.44%となり、前年同期に対し0.03ポイント改善しました。

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。自己査定区分における破綻先・実質破綻先が該当します。

■危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。自己査定区分における破綻懸念先が該当します。

■要管理債権

「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。自己査定における要注意先の一部が該当します。

■正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。自己査定区分における要注意先の一部と正常先が該当します。

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	令和2年度末 金額	令和3年度末 金額	科目	令和2年度末 金額	令和3年度末 金額
(資産の部)			(負債の部)		
現金	7,778	9,232	預金積金	649,887	649,658
預け金	200,188	190,651	借入金	700	700
有価証券	119,850	131,131	その他負債	2,361	2,486
貸出金	344,984	343,487	賞与引当金	215	222
その他資産	4,474	4,454	退職給付引当金	366	317
有形固定資産	12,067	11,075	役員退職慰労引当金	314	364
無形固定資産	1,529	1,526	睡眠預金払戻 損失引当金	4	1
債務保証見返	126	92	偶発損失引当金	263	213
貸倒引当金	△ 847	△ 778	繰延税金負債	21	81
(うち一般貸倒引当金)	(△ 369)	(△ 346)	再評価に係る 繰延税金負債	180	121
(うち個別貸倒引当金)	(△ 477)	(△ 432)	債務保証	126	92
			負債の部合計	654,442	654,260
			(純資産の部)		
			出資金	14,606	14,295
			普通出資金	13,056	12,745
			その他の出資金	1,550	1,550
			資本剰余金	1,050	1,050
			利益剰余金	18,058	19,569
			組合員勘定合計	33,715	34,914
			評価・換算 差額等合計	1,994	1,698
			純資産の部合計	35,709	36,612
資産の部合計	690,152	690,873	負債及び 純資産の部合計	690,152	690,873

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	令和2年度 金額	令和3年度 金額
経常収益	10,193	10,168
資金運用収益	8,979	9,023
貸出金利息	7,246	7,103
預け金利息	255	227
有価証券利息配当金	1,386	1,536
その他の受入利息	91	155
役員取引等収益	483	413
その他業務収益	131	140
国債等債券売却益	113	103
その他の業務収益	18	36
その他経常収益	599	591
経常費用	8,524	7,664
資金調達費用	295	269
預金積金利息	294	269
その他の支払利息	0	0
役員取引等費用	375	304
その他業務費用	267	2
経費	6,987	6,874
その他経常費用	598	212
経常利益	1,669	2,504
特別利益	—	376
特別損失	10	474
税引前当期純利益	1,658	2,406
法人税、住民税及び事業税	572	729
法人税等調整額	△ 129	55
法人税等合計	443	784
当期純利益	1,215	1,621
繰越金(当期首残高)	514	692
土地再評価差額金取崩額	—	152
当期末処分剰余金	1,730	2,467

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

用語解説

預け金

お客さまの預金等の支払準備金、または余剰資金の運用として他の金融機関へ預けている預金です。

繰延税金資産・負債

税効果会計の適用によって計上される勘定です。支払った税金のうち将来回収が見込まれる場合は繰延税金資産、将来税金の支払いが見込まれる場合には繰延税金負債を計上し、貸借対照表上には差引で記載します。

貸倒引当金

ご融資した貸出金のうち、将来における貸倒れに備えて、あらかじめその可能性に応じた損失を積み立て(引当)計上します。実際に貸倒れた場合には、この引当金から充当します。

その他の出資金

優先出資金の買入消却に伴い、「優先出資金」から振替えたものです。

純資産

総資産から総負債を引いた部分です。お客さまから出資していただいた出資金や利益を蓄えた利益剰余金等からなる「組合員勘定合計」と「評価・換算差額等合計」からなります。

資金運用収益

お客さまからお預かりした資金(預金)を、本業である貸出金、有価証券等で運用して受け取った利息、配当金です。

資金調達費用

預金利息等、事業に必要な資金を調達するのに掛かった費用です。

法人税等調整額

税効果会計の適用により、計上される法人税、住民税及び事業税の調整額です。

役職員の状況・組織図

役員紹介

(令和4年6月23日現在)

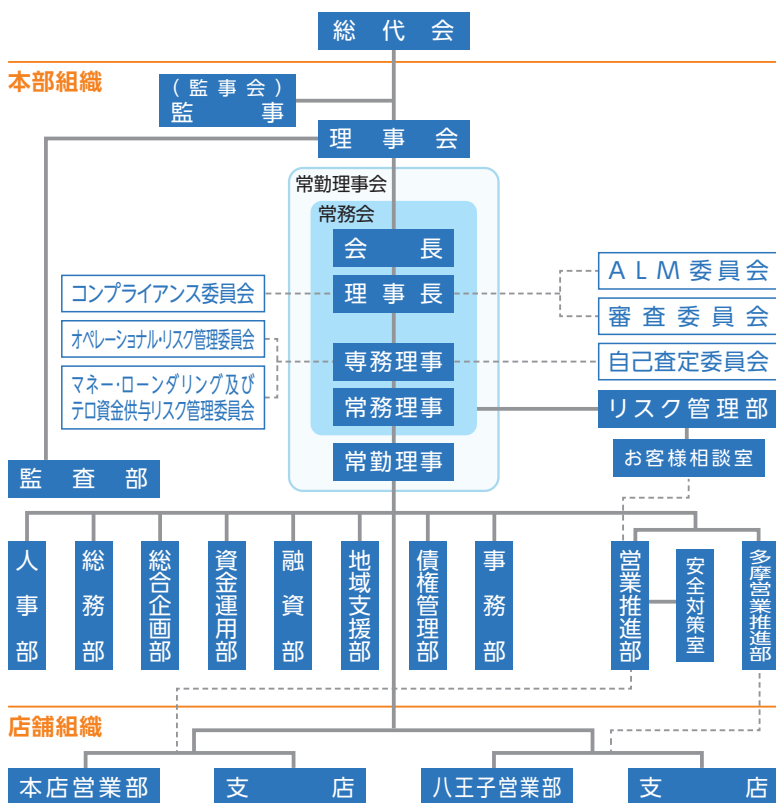
代表理事会長	柳沢 祥二		代表理事会長 柳沢 祥二
代表理事理事長	内田 通郎		代表理事理事長 内田 通郎
常務理事	鈴木 明美		常務理事 鈴木 明美
常務理事	松川 茂雄		常務理事 松川 茂雄
常勤理事	金田 真門		常勤理事 金田 真門
常勤理事	荻原 徳彦		常勤理事 荻原 徳彦
常勤理事	後藤 輝雄		常勤理事 後藤 輝雄
常勤理事	森 文雄		常勤理事 森 文雄
常勤監事	小野寺 栄治		常勤監事 小野寺 栄治
理事(非常勤)	森下 繁己		
理事(非常勤)	鷗橋 誠一(※)		
理事(非常勤)	河和 哲雄(※)		
監事(非常勤)	野竹 弘幸		
員外監事	山口 省蔵(※)		

職員出身者以外理事・員外監事

大信は、職員出身者以外の理事・監事(※印)の経営参画をいただくことで多様な意見を反映する等「理事会の機能発揮」を図り、ガバナンスの向上と組合運営の適切化に努めております。

組織図

(令和4年7月1日現在)



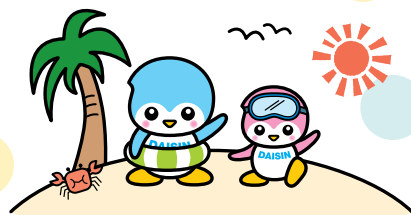
職員数

年度	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
男性	363名	354名	345名
女性	225名	243名	248名
合計	588名	597名	593名



大信 あゆみ

1年の



1日 令和3年度
入組式^①



令和3年度入組式

6日 手形交換業務を本部集中へ変更
8日 『行って買って食べて応援し隊』
福生周辺地域版part2の発行

3日 電子記帳台システムの
導入開始

4月

令和3年

5月

6月

7月

8月

9月

20日 『行って買って食べて応援し隊』
福生周辺地域版の発行

1日 特別金利定期預金「大くん定期2021」の取扱い開始^②
1日 第80回都内中小企業・小規模事業者景況調査結果公表
23日 第69回通常総代会 開催^③
29日 柳沢会長 全信中協会長に就任^④



特別金利定期預金
「大くん定期2021」



第69回通常総代会



柳沢会長 全信中協会長に就任

沿革 (ダイジェスト)

1952年9月

東京蓄産信用協同組合の業務開始
(9月6日を創立記念日と定める)



1953年6月

東京蓄産信用協同組合を東京蓄産信用組合に改称

1955年8月

日東信用組合を吸収合併、これを機に地域信用組合に転換

1959年10月

組合名を大東京信用組合に改称

1962年9月

創立10周年を記念し、
「財団法人あすなる会」を創設



1973年12月

預金量1,000億円を突破

1981年6月

預金量2,000億円を突破



明治大学にて特別講義を行う内田理事長



富士見台支店内装リニューアルオープン

- 9日 内田理事長、母校明治大学で特別講義⁵
- 10日 『行って買って使って応援し隊』東大和周辺地域版の発行
- 12日 三ノ輪支店の営業を終了し、日暮里支店に統合



- 18日 『行って買って使って応援し隊』花畑・足立周辺地域版の発行
- 18日 『行って買って使って応援し隊』十条周辺地域版の発行
- 22日 富士見台支店内装リニューアルオープン⁸
- 31日 『行って買って使って応援し隊』新宿周辺地域版part2の発行

- 10日 駒沢支店の営業を終了し、三軒茶屋支店に統合

10月

11月

12月

令和4年
1月

2月

3月

- 1日 柳沢会長 駒澤大学経済学部で講義
- 3日 柳沢会長 日本大学商学部でオンライン講義
- 7日 柳沢会長 千葉商科大学商経学部でオンライン講義⁶
- 8日 創立70周年に係る実行委員会の設置
- 14日 『行って買って使って応援し隊』新小岩周辺地域版の発行
- 22日 『行って買って使って応援し隊』押上周辺地域版の発行
- 23日 第81回都内中小企業・小規模事業者景況調査結果公表

- 4日 「しんくみSDGs定期預金(YELL-IV)」の取扱い開始⁷
- 28日 しん研青年部会・大信ひまわりの会合同ライブ配信セミナー開催



全国信用組合会館よりオンライン授業を行う柳沢会長



「しんくみSDGs定期預金(YELL-IV)」

1998年11月

品川信用組合の事業譲受けを完了(6店舗譲受け)

2003年3月

多摩地区の企業経営者組織「だいしん経営研究会(しん研)」発足

2011年6月

大信のイメージキャラクター誕生



2014年10月

日本政策金融公庫と業務提携

2001年5月

振興信用組合の事業譲受けを完了(6店舗譲受け)

2007年12月

東京建設信用組合と合併

2012年9月

創立60周年を迎える(前年6月より各種イベントを実施) 預金量5,000億円を達成

2015年7月

大信イメージキャラクターの名前が「大きくん」、「心ちゃん」に決定

2002年5月

三栄信用組合の事業譲受けを完了(7店舗譲受け)

2009年6月

多摩地区の若手企業経営者組織「だいしん経営研究会青年部会(しん研青年部会)」第1回総会開催

2013年10月

城南地区の若手企業経営者組織「大信ひまわりの会城南ブロック」発足(2015年3月までに城西・城東・城北・中央各ブロックが発足)

2002年7月

第三信用組合の事業の一部譲受けを完了(1店舗譲受け)

2015年12月

北部信用組合と合併

都内にひろがる 大信のネットワーク

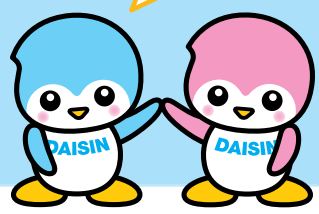
本部 〒105-8610 東京都港区東新橋2-6-10 TEL 03(3436)0111(代)

有人店舗・出張所 (令和4年7月1日現在)

店舗名	ATM							台数	住所	電話番号 (代表番号)
	平日 ◎印 8:00~21:00 △印 8:00~20:00	土曜 8:45~17:00	日曜 8:45~17:00	祝日 8:45~17:00	年末 (12/31) 8:45~17:00	年始 (1/1~3) 8:45~17:00	現金振込 (平日のみ) 8:45~15:00			
本店営業部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	03(3436)0121
品川駅東口支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒108-0075 港区港南2-3-1	03(3474)8326
十条支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒114-0034 北区上十条2-31-1	03(3907)5111
目黒支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒153-0064 目黒区下目黒6-18-25	03(3711)5656
高円寺支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒166-0003 杉並区高円寺南4-45-4	03(3318)1111
亀戸支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒136-0071 江東区亀戸1-27-9	03(3685)3351
蒲田支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒144-0052 大田区蒲田4-22-17	03(3732)3221
日暮里支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒116-0014 荒川区東日暮里5-11-5	03(3802)8181
新宿支店	△	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒160-0022 新宿区新宿5-1-1	03(3356)2151
三軒茶屋支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-14-10	03(3424)3181
新小岩支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒124-0023 葛飾区東新小岩5-2-6	03(3691)9536
大塚支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒170-0004 豊島区北大塚1-34-12	03(3918)6411
銀座支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒104-0061 中央区銀座2-12-9	03(3542)8051
吉祥寺支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町4-10-10	0422(22)9221
恵比寿支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-7-8	03(3463)0561
常盤台支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒174-0063 板橋区前野町2-4-2	03(3969)2535
戸越支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒142-0041 品川区戸越2-6-1	03(3786)5121
府中支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒183-0023 府中市宮町1-33-11	042(363)7511
押上支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒130-0002 墨田区業平4-1-2	03(3625)5001
田町駅前支店	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒108-0014 港区芝5-16-2	03(3453)3201
荏原駅前支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒142-0053 品川区中延5-1-1	03(3786)8161
福生支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒197-0011 福生市福生1004	042(553)0611
品川支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒140-0004 品川区南品川2-17-6	03(3474)1333
西蒲田支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒146-0094 大田区東矢口3-20-5	03(3738)1106
大井支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒140-0011 品川区東大井6-9-6	03(5493)1911
八王子営業部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒192-0081 八王子市横山町24-1	042(642)0201
中野山王出張所	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	2	〒192-0042 八王子市中野山王3-5-9	042(626)4111
日野支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒191-0011 日野市日野本町2-18-11	042(582)2121
西八支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒193-0835 八王子市千人町2-3-18	042(661)6221
石川支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒192-0032 八王子市石川町522-4	042(646)3011
青山支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒107-0061 港区北青山2-12-32	03(3401)0145
保谷支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒178-0064 練馬区南大泉4-55-5	03(3924)3311
立川支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒190-0011 立川市高松町2-11-24	042(524)6681
堀ノ内支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒166-0013 杉並区堀ノ内3-3-15	03(3311)1141
三鷹支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1	0422(48)2311
東大和支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒207-0014 東大和市南街3-55-8	042(567)2011
荻窪支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒167-0043 杉並区上荻1-19-9	03(3391)1931
富士見台支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒177-0034 練馬区富士見台2-18-5	03(3999)7163
浅草支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒111-0034 台東区雷門2-17-14	03(3842)2011
花畑支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒121-0061 足立区花畑4-37-16	03(3859)2111
足立支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒123-0845 足立区西新井本町4-8-16	03(3898)2111



大信の店舗は全店
午後4時※まで
営業しています。



※窓口営業時間 短縮のお知らせ
新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止のため、当面の間、
営業時間を午前9時～午後3時までに短縮させていただいております。

無人出張所

店舗名	ATM								住所
	平日	土曜	日曜	祝日	年末	年始	現金振込	台数	
	◎印 8:00~21:00 ◇印 8:00~18:00	8:45~17:00	8:45~17:00	8:45~17:00	(12/31) 8:45~17:00	(1/1~3) 8:45~17:00	(平日のみ) 8:45~15:00		
京浜蒲田出張所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒144-0052 大田区蒲田4-5-7
十条銀座出張所	◎	◎	×	×	◎	×	×	1	〒114-0031 北区十条仲原1-5-9

ATM設置状況 (令和4年7月1日現在)

区分	ATM(現金自動預払機)
店舗内	70台
店舗外	2台
計	72台



主な手数料一覧 令和4年7月1日現在

※下記手数料はすべて消費税込の金額です

振込手数料（窓口）

宛先	金額区分	手数料	
当組合本支店 自店内宛	5万円未満	220円	
	5万円以上	440円	
他 行 宛	電信扱い	5万円未満	600円
		5万円以上	820円
	文書扱い	5万円未満	600円
		5万円以上	820円

◎給与振込手数料は1件（他行宛）110円 当組合宛は無料

送金・代金取立手数料

種類	当組合本支店 自店内宛	他行宛	手数料
送金手数料	1件につき 440円	電信扱い1件につき 普通扱い1件につき (送金小切手)	880円 660円
振込・送金 の組戻料	1件につき 220円	1件につき	660円
代金取立手数料 (東京・横浜交換除く)	無料	至急扱1通につき 普通扱1通につき	1,100円 990円
取立手形組戻料 (東京・横浜交換除く)	無料	1通につき	1,100円
依頼返却手数料	無料	1通につき	1,100円
不渡手形返却料 (東京・横浜交換除く)	無料	1通につき	1,100円
取立手形 店頭呈示料	無料	1通につき ただし、1,000円を超える実費を要する 場合は、その実費を申し受けます	1,100円

小切手・手形帳発行等手数料

内容	料金	
☑口座開設	3,300円	
☑手形用紙の発行（1枚）	550円	
自己宛小切手の発行（1枚）	550円	
手形帳発行（1冊）	1,100円	
小切手帳発行（1冊）	660円	
残高証明書の発行（1通）	550円	
未払利息証明発行（1通）	550円	
取引履歴等証明書の発行（1件）	5年未満	550円
	5年以上10年以下	1,100円
	10年超	2,200円
預金証書・通帳の再発行	(1枚あるいは1冊) 1,100円	
キャッシュカードの再発行（1枚）	1,100円	
貸金庫手数料	8,360円～33,000円	
国債の口座管理手数料	無料	
会場使用料・株式等払込手数料	規定料金に消費税(10%)を加えた価格	

振込手数料（ATM）

種類	利用時間帯	金額区分	利用カード種類				現金		
			当組合カード		提携金融機関 カード		当組合本 支店宛・ 自店内宛	他行宛	
			当組合本 支店宛・ 自店内宛	他行宛	当組合本 支店宛・ 自店内宛	他行宛			
平日	8:00～8:45	5万円未満	110円	380円	330円	600円	利用できません		
		5万円以上	330円	600円	550円	820円			
	8:45～18:00 (注)提携金融機関	5万円未満	110円	380円	220円	490円		110円	380円
		5万円以上	330円	600円	440円	710円		330円	600円
	18:00～21:00	5万円未満	110円	380円	330円	600円		利用できません	
		5万円以上	330円	600円	550円	820円			
土曜日	8:45～14:00 (注)提携金融機関	5万円未満	110円	380円	220円	490円	利用できません		
		5万円以上	330円	600円	440円	710円			
	14:00～17:00	5万円未満	110円	380円	330円	600円			
		5万円以上	330円	600円	550円	820円			
日曜日 祝日	8:45～17:00 (注)提携金融機関	5万円未満	220円	490円	330円	600円			
		5万円以上	440円	710円	550円	820円			
年末	8:45～17:00 (注)提携金融機関	5万円未満	110円	380円	330円	600円			
		5万円以上	330円	600円	550円	820円			

(注)提携金融機関……取扱いは9:00からとなります。

◎店舗・利用カードによっては、利用日、利用時間帯が異なります。

◎現金振込ができない店舗もございます。

◎現金振込（平日）は8:45～15:00までとなります。

◎振込金額は当組合カードでは50万円までですが、限度額変更により200万円までお振込みいただけます。

(他金融機関カードは発行金融機関の限度額まで)

ATM利用手数料 (お引出/ご入金1回につき)

種類	利用時間帯	カード種類					
		当組合カード	提携信用 組合 カード	提携金 融機関 カード	郵貯 カード	キャッシング (クレジット カード)	
平日	8:00～8:45	無料	220円	220円	220円	無料	
	8:45～18:00		(※)	110円	110円		
	18:00～21:00		220円	220円	220円		110円
土曜日	8:45～9:00	無料	お取扱いできません				
	9:00～14:00		(※)	110円	110円	無料	
	14:00～17:00		220円	220円	220円	110円	
日祝日・ 年末日	8:45～9:00	日祝日 110円	お取扱いできません				
	9:00～17:00	年末日 無料	220円	220円	220円	110円	

※お引き出しの場合、提携信用組合は無料その他110円。(提携信用組合については、窓口にお尋ね下さい)

※ご入金の場合は、110円

◎お借入またはご返済金額が10千円以下の場合は、110円となる場合があります。

◎1日あたりのお引き出しは500千円まで(他金融機関カードは発行金融機関の限度額まで)、ご入金は1回99万円(入金枚数99枚)までご利用できます。

◎店舗・利用カードによって利用日・時間帯が異なります。

インターネット・モバイルバンキング年間利用手数料

年間利用手数料	1,320円	代表利用口座より、毎年、お申込月の第一営業日に口座振替により引落させていただきます。 なお、申込後1年間は無料とさせていただきます、1年後から向こう1年間分を引落させていただきます。
---------	--------	--

ビジネスバンキング月額基本料

照会・振込振替サービス	1,100円	代表口座より毎月10日(休日の場合は翌営業日)に口座振替により引落させていただきます。
照会・振込振替サービス + データ伝送サービス	2,750円	

振込手数料 (インターネット・モバイルバンキング)

宛先	振込・振替・総合振込 5万円未満	振込・振替・総合振込 5万円以上	給与(賞与)振込
自店内宛	無料	無料	無料
当組合本支店	110円	220円	無料
他行宛	330円	440円	55円

※総合振込および給与(賞与)振込は、ビジネスバンキングでデータ伝送サービスをご契約いただいているお客さまのみが対象となります。

融資関係手数料

内容	料金	
1. 不動産担保事務取扱い		
(1) 新規設定 (1件)		55,000円
(2) 極度増額・追加担保・担保差替 (1件)		11,000円
(3) 不動産担保抹消手数料 ((根) 抵当権1件につき)	5,500円	
※抹消同行の場合 都内11,000円 左記以外22,000円 (上記手数料含む)		
2. 各種ローン事務取扱い		
(1) 証書貸付 (小口消費者ローンを除く、返済期間5年超の契約)		
① 繰上返済	繰上返済手数料	他行借換により返済する場合(保証付・ホームローン除く)
ア. ご融資後3年以内	22,000円	債務残高×1.5%+消費税
イ. // 3年超5年以内	11,000円	債務残高×1.0%+消費税
ウ. // 5年超	5,500円	債務残高×0.5%+消費税
② 内入れ返済及びそれに伴う返済方法の変更		5,500円
③ 固定・変動金利選択型融資の固定金利選択手数料		5,500円
(2) 新規融資事務用紙代一式		1,100円
(3) 返済予定表再発行手数料		550円
(4) ローンカード再発行手数料		1,100円
(5) 支払利息証明書発行手数料		220円

- ①繰上げ返済のできる日は、金銭消費貸借契約書上に定める毎月の約定返済日とし、約定日の10営業日前までに当組合所定の書式(証書貸付繰上返済・返済方法変更申込書)を提出していただきます。(10営業日に満たない場合は翌月の約定日が返済日となります。)
- ②手数料金額に変更があった場合は変更後の手数料金額を適用させていただきます。
但し、金銭消費貸借契約書(特約付)でのご契約で手数料内容の記載がある場合は、記載内容の手数料金額とします。(金額は消費税込となっております)

円貨両替手数料・新券両替手数料 (窓口)

ご希望の金種の合計枚数	料金
1枚~200枚	(注) 330円
201枚~400枚	550円
401枚~1,000枚	880円
1,001枚以上	※以降200枚まで毎に330円加算します

(注)当組合に口座のある方は、一人1日1回50枚迄に限り無料。ただし同日中の2回目(以降)の取引については取引枚数に応じた手数料となります。(新券も同様)

※取扱枚数については、お客さまのお持ちいただいた紙幣・硬貨の枚数と両替された紙幣・硬貨の枚数の多い方を基準に手数料を計算いたします。

※窓口での現金払戻しによる、金種を指定した場合は、指定枚数に応じた手数料となります。

円貨両替機利用手数料 (両替機設置店舗)

ご希望の金種の合計枚数	料金
1枚~200枚	(注) 300円
201枚~400枚	500円
401枚~1,000枚	800円

(注)当組合キャッシュカードをお持ちの方は、一人1日1回50枚迄に限り無料です。

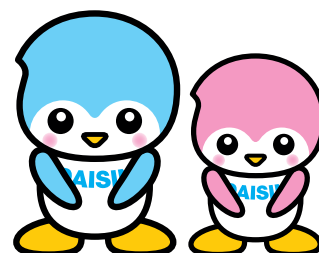
(注)十条銀座出張所・高円寺支店・三軒茶屋支店・福生支店は硬貨の両替はできません。

個人データ開示手数料

内容	料金	
基本料金(氏名・住所・生年月日・電話番号)	1,100円	
追加1項目につき	330円	
取引明細 (取引履歴)	5年未満	550円
	5年以上10年以下	1,100円
	10年超	2,200円

「主債務の履行状況に関する情報のご提供」手数料

内容	料金
主債務者1名につき	2,200円



東京都内全19信用組合・東京都信用組合協会 「SDGs共同宣言」について

大信は、令和元年10月1日に「大信SDGs宣言」を公表しておりますが、令和3年11月2日には、大信を含む都内全19信組と一般社団法人東京都信用組合協会が「SDGs共同宣言」をいたしました。

地域の信組が全国で初めて共同で実施した「SDGs共同宣言」では、持続可能な社会の実現に向けて、連携して取り組むこととしており、その第一弾として貧困・飢餓をテーマとして都内の子ども食堂を支援する統一商品「しんくみSDGs定期預金(YELL-IV)」を販売しました。お陰様で多くのお客さまの賛同を得て、契約総額の金利相当額を「認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ」を通じて寄付させていただきました。

大信は、これからも、役職員一人ひとりが地域との共存共栄と地域社会の発展、社会貢献に向けて行動してまいります。

ESG投資の実施

- ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の頭文字をとったものですが、企業経営や成長においてこれらの観点を組み込むことによって、持続可能な社会の形成に役立つことを示した投資における判断基準の一つです。
- 大信では、平成31年2月より、主に債券投資の購入時にESGによる判断基準を優先的に適用しております。具体的には、債券の発行体が環境改善効果をもたらすことを目的としたプロジェクトに資金を調達するためのグリーンボンド、グリーンボンドの一種であり、温室効果ガス排出削減に向けた移行戦略に資金を調達するトランジションボンド、社会的課題の対処に向けた事業を資金使途とするソーシャルボンド、ソーシャルボンドの一種であり、ジェンダー平等やエンパワメントを資金使途とするジェンダーボンド、環境・社会的課題の解決に資する事業のためのサステナビリティボンドの各区分となります。
- 令和3年度までのESG投資実績は、右表のとおりであります。なお、投資先の具体的内容等については、当組合ホームページをご覧ください。

	令和3年度		令和2年度まで		累計	
	銘柄数	額面(百万円)	銘柄数	額面(百万円)	銘柄数	額面(百万円)
グリーンボンド	23	3,000	41	6,200	64	9,200
トランジションボンド	1	100	—	—	1	100
ソーシャルボンド	3	300	9	1,000	12	1,300
ジェンダーボンド	1	100	—	—	1	100
サステナビリティボンド	9	1,600	13	2,100	22	3,700
合計	37	5,100	63	9,300	100	14,400

大信は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の課題解決と成長を通じて、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

大信のSDGs宣言

～社会人向け生涯学習への取組み～ 内田理事長母校明治大学で特別講義

内田理事長は、令和3年11月9日(火)、母校の明治大学で行われた、明治大学リバティアカデミーオンライン講座の特別講師として招かれ、「地域活性化への信用組合の挑戦」と題し、講義を行いました。

本講座は、同大学OBでもある当組合の川瀬参与がコーディネーターとなり、地域金融機関の経営者として現在活躍している同大学OBをゲストに招き、地域金融経済の実情と今後の展開に関し理解を深めるために、数回にわたり行われたものです。約1時間の講義において、「大信の概況」、「経営方針・理念」および活動の一部を紹介後、コロナ禍をお取引事業者と共に乗り越えるための大信の取組みについて説明しました。特に、コロナ禍で苦境に陥っているお客さまへの支援を全力で行うことは、地域金融機関である信用組合の使命を全うすることでもあり、今後も重要だと熱く語られ、受講生に対し、信用組合への理解を深める機会となりました。



社会貢献活動

大信は地域社会の一員として、活力ある地域社会の実現を目指し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

一般財団法人あすなろ会

◇ 一般財団法人あすなろ会に対して 60年間、物心両面にわたり支援

(一財)あすなろ会の活動は、英会話教室・茶道教室などの教養教室の他、新年のつどい、あすなろ祭等のイベント、さらに中小企業経営者を対象とした中小企業経営環境研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり行われています。

大信では、このような(一財)あすなろ会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、同会事務所の提供、職員の派遣などの支援を継続しております。これらの活動基盤は大信と大信全店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられています。

地元に着した地域貢献活動

◇ 地域行事への参加を通して地域の活性化をお手伝い

地域貢献型教育プロジェクト



「武蔵野市立第一小学校職場見学会」に協力

地域行事への参加



「花プロジェクト」に協力



「Clean Up Otsuka
200人de清掃」に協力

柳沢会長、3大学で信用組合の役割を講義

柳沢会長は、令和3年12月に駒澤大学経済学部、日本大学商学部、千葉商科大学商経学部の各授業において特別講師として招かれ、「地域社会における信用組合の役割」と題し、教鞭を執られました。(コロナ禍を鑑み、駒澤大学は人数を限定した対面授業、日本大学、千葉商科大学では、全国信用組合会館よりオンライン授業での開催。)

講義では、協同組織金融機関の歴史と概要、銀行との違いを中心とした信用組合の特性のほか、コロナ禍においてお取引先や地域から求められている信用組合の役割とそれにどのようにお応えしていくかなど、現状を踏まえてお話されました。

講義の中で柳沢会長は、「信用組合の主なお取引先である中小企業・小規模事業者においてはコロナ禍で大変厳しい経営状況が続いており、今こそ、事業主の皆さんと正面から向き合い、一緒に解決策を見出す伴走型支援を実践していかなければならない。そのためには、組合内でできないことは外部専門家等との連携も図り、金融仲介機能をフルに発揮しながら解決していく。また、それができるのは利益追求型の金融機関ではない」と信用組合の強みを語られました。さらに「お取引先が困っているときこそご支援するのが信用組合の存立意義であり、このような時こそ、我々の基本理念である“相互扶助”の精神をフルに発揮し、お取引先と一緒に苦難を乗り越え、地域に貢献していきたい」とお話しされ、最後に、「どのような時代になっても人と人との関係を大事にすることが重要で、それができるのは信用組合である。だから、“信組が面白い”と学生の興味を促し、講義は締めくくられました。

講義後のアンケートでは「信用組合の特性や地域を支えている金融機関だと理解できた」と多くの学生から回答をもらい、所期の目的を達成することができました。



第3期「しんくみ経済塾」開講

令和3年度も日大商学部の長谷川勉教授を講師に迎え、若手職員に対する金融知識の向上を目的とした“金融を学ぶゼミナール”「しんくみ経済塾」を開講しました。

3期目となる受講生は5信組(大東京、全東栄、七島、塩沢、群馬県)20名でスタートしましたが、昨年度に引き続き、コロナ禍による東京移動への健康・安全面を考慮し、各信組本支店からZoomによるオンライン授業で行われました。

月1回・年12クールで行われた第3期しんくみ経済塾は、金融知識に関する講義に加え、事前に出された課題に対して、ブレイクアウトルーム機能を利用したワークショップ形式による議論や発表を行うなど、距離を感じさせない双方向の参加型授業が行われました。



女性活躍推進への取組み

大信では、従来より女性の活躍推進に向け、女性渉外の配置をはじめ、女性の採用拡大、育児休業の充実、役職の積極登用など、様々な対応を行ってきました。

その結果、10年前と比べ、女性割合は約13%増加し42%となっています。

また、令和4年3月31日現在では店舗長2名、次長同等職で12名、課長同等職で14名と、系列職として活躍する女性職員は増加傾向にあり、「課長同等職以上に占める割合」は17.7%と、当組合が掲げる数値目標20%以上に近づいています。

ワーク・ライフ・バランスへの取組み

職員一人ひとりが能力を発揮していくためには、「働きやすい職場環境」が前提となります。また、働きやすさは、仕事へのやりがいや満足度のみならず、お取引先の満足度向上にも繋がると考えています。

こうした観点から、「仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」をはじめ、「ハラスメントへの取組み」、「ストレスチェック」等、各施策に対し積極的に取り組んでいます。

また、改正育児・介護休業法の段階的施行に伴い、育児休暇を取得しやすい雇用環境の整備や周知等、仕事と家庭の両立に資する対応を図っています。

さらに、育児休業の充実により、育児休業取得者(育児休業予定者含む)は全女性職員の1/4を占めており、「長く勤められる」企業として、その割合は増加しています。



人材育成に関する取り組み

大信では、若手職員の基礎力の早期形成と長期的な視野に立った能力開発に向けて、採用から研修までの一貫した人材育成と配属後の計画的なジョブローテーションを行っています。

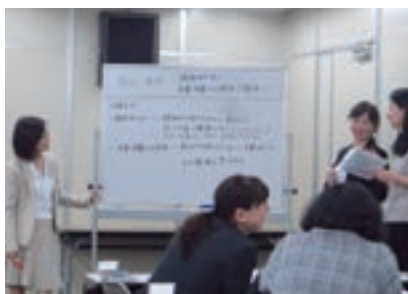
その後もキャリアアステージに合わせた研修を通じ、職員の能力を最大限に引き出すことで、多様化・高度化するお客さまのニーズに対応できる人材の育成に努めています。

職員の能力アップへ向けた取り組み

◆ 職員育成に向けたプログラム

内部研修

- 新任店長席研修
- 評価者訓練・研修
- 部下育成(OJT)研修
- 証券外務員研修
- 窓口接客向上研修
- 年金業務研修(基礎、中級)
- 融資実務研修(基礎、中級)
- 相続対応研修
- 調査業務実施者認定研修
- 基礎能力育成基本カリキュラム(入組3年間)
- 歳入金事務基礎研修
- トレード研修
- 渉外担当・窓口担当者「ロールプレイング研修」
- 財務分析研修
- 不動産調査実務研修
- 職位別研修
- マネロン・テロ資金供与対策研修
- 本業支援強化に係る研修・学習プロジェクト



トレーニー研修

- 融資審査トレーニー
- 債権管理担当者トレーニー

新入職員研修～信組職員としての基本を習得～

- 入組前研修(3月)
- 事務基礎研修(4月)
- 若手渉外担当者研修
- フォローアップ研修
- 社会人基礎育成研修
- 社会・経済の基礎知識研修



外部派遣研修

全信中協、都信協等における研修

- 支店長講座・次長講座
- 女性管理者講座
- 経営改善・事業再生研修
- コンプライアンス講座



※写真は、過年度実施のものを掲載しております。



◇ 人にやさしい店舗を目指して

当組合では、「お客さまに安心・安全・満足感を持っていただける店舗づくり」に向け、店舗の新築・内装リニューアルを進めています。

今回は、令和4年3月に内装のリニューアルをした富士見台支店の様子をお届けします。



お客さま保護に関する取組み

大信は、金融機関としての社会的使命と公共性に鑑み、役職員一体となってお客さまを特殊詐欺の被害から守るための実践活動と啓蒙活動に取り組み、お客さま・地域社会から信頼される金融機関を目指しております。

ここでは、その取組みの一例をご紹介します。

◇ 振り込め詐欺被害の未然防止

金融犯罪への注意喚起および振り込め詐欺の被害を未然に防止するため、積極的なお客さまへの声かけ等を実施し、年間3件(累計101件)の被害の未然防止につながりました。このような積極的な取組みに対し、警察署より感謝状をいただきました。



荻窪支店



東大和支店



青山支店

お客さま満足度向上の取組み

◇ 電子決済サービスの充実

当組合では、以下のQRコード決済サービスと提携しています。

1. BankPay

金融業界統一のQRコード決済「Bank Pay」を令和2年8月より取扱を開始しましたが、9月14日よりサービス提供元である「日本電子決済推進機構」より、他社決済サービスにおいて不正利用被害が発生したことを受け、利用を停止しておりました。

セキュリティ強化等が実施され、令和3年12月より利用再開となりました。

● サービスの概要

BankPay加盟店で表示されたQRコードをBankPayアプリで読み取ることにより、お客さまの預金口座から即時にお引落することでお支払いを行うQRコード決済サービスです。



2. J-CoinPay

みずほ銀行が提供するQRコード決済「J-CoinPay」を令和3年12月より取扱を開始しました。

● サービスの概要

当組合預金口座と連携し、チャージすることで、J-CoinPay加盟店での支払いや個人間の送金等が無料で簡単にできるQRコード決済サービスです。



3. PayPay

令和4年7月から、PayPayとの連携を開始いたしました。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

◇ 電子記帳台システムの導入

当組合では、快適にお客さまに窓口でお手続きをしていただけるよう、「電子記帳台システム」を全店に順次導入しております。

これまで、伝票や申込用紙にご記入いただいていたお名前・ご住所などの情報は、運転免許証等の本人確認書類を機械で読み取らせることにより自動入力が可能となり(一部の確認書類に限ります)、その他の必要事項も、順次画面に従い選択入力することでスムーズにご記入いただけるようになります。複数のお手続きでも1回のご署名で伝票・帳票が作成されます。



お客さま本位の業務運営を実現するための明確な方針として、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を制定したほか、お客さまがより便利で快適にご利用いただくための店舗改修、情報誌の発行などさまざまな取組みを実施しています。

お客さま満足度向上と お客さま保護の取組み



大信では、お客さまのライフステージに応じてさま

大信では特別な定期預金を取り扱っております



大信では、令和3年度に期間限定で通常の店頭金利に上乗せ金利を提供した「大くん定期2021」と東京都内信用組合共同企画商品「しんくみSDGs定期預金(YELL-IV)」を提供いたしました。今年度も、お客さまの多彩なニーズにお応えできるよう、サービスや預金商品の充実に努めてまいります。

大信の定期積金

定期積金は、ご結婚やご入学など、使用目的に合わせて、毎月一定額を無理なく積み立てる計画貯蓄に最適です。

子育て

教育ローン まなび
リフォームローン

結婚

クリーンマイカーローン2
住宅ローンマイプラン

アッ！お金が必要！
そんなときに大信が
お役に立ちます

就職

フリーローン チョイス

職域パートナー制度

(職域提携企業の従業員に対する融資利率優遇)

お取引先の事業所で働く従業員の方々が事業所等に定着し、健康で文化的な生活を営み、生活の安定、向上など福利厚生面の充実に側面支援することを目的に、金融サービス(金利を優遇した小口消費者ローン・金融相談等)を行うものです。

※職域提携企業の常勤従業員(嘱託ならびに臨時職員を除く)で勤続一年以上の方が対象となります。

金利優遇例

フリーローン
「職域・チョイス」
年利2.6%~12.6%

フリーローン
「チョイス」
年利3.0%~13.9%

いろいろお得な 大信すえひろ会

大信すえひろ会は、大切な年金を当組合でお受け取りいただいているお客さまの会です。お取引いただくと自動的に会員となりますので、入会手続きは不要です(会費無料)。大信すえひろ会では、さまざまな優待やご利用いただける情報をご用意しております。

会員特典のご紹介

お誕生日プレゼント

年金受取口座ご契約時ならびに毎年のお誕生日に素敵な記念品を差し上げます。また、お取引中に古稀をお迎えになられた方には特別なお祝品を差し上げます。

大信とくとく定期預金・2

ご契約時のスーパー定期預金(1年・2年)の店頭表示金利に0.20%を上乗せします！お一人さま300万円までお預け入れが可能です。
(金融情勢等により内容を変更または中止することがありますので、予めご了承ください。)

すえひろ積金「らくらく」

ご契約時の定期積金(2年・3年)店頭表示金利の2倍とお得です。掛込金額は1万円以上1千円単位で設定が可能です。満期金を定期預金(1年契約)に振り替えていただくと、店頭表示金利に0.15%金利を上乗せします。
(金融情勢等により内容を変更または中止することがありますので、予めご了承ください。)



さまざまなサポートを行っております。

円熟時代・ セカンドライフ

大切な資産だからこそ
しっかり受け継ぐ

相続専用定期預金

相続により受け継がれた資金を特別な金利
でお預かりいたします。

過去1年以内に相続手続きを行い、相続に
より取得されたご資金(当組合の預金や他
行預金)をお預けいただける個人の方が対
象となります。

詳しくはお取引店舗にお問い合わせくだ
さい。



大信の
WEB応援ローンは、
WEB・スマホで
申し込むと金利が
店頭表示金利より
0.2%割引!



大信では、皆さまのさまざまなライフステージに合わせた
商品・サービスの提供に努めています。

個人向けサービスの紹介

その他ご利用いただける情報のご紹介

ふれあい旅行

1泊2日の旅です!
ご家族、ご友人と楽しいひとときを、お過ごしください。
※令和3年度は新型コロナウイルス感染症防止の為、中止いたしました。

大信山中荘で ゆっくり

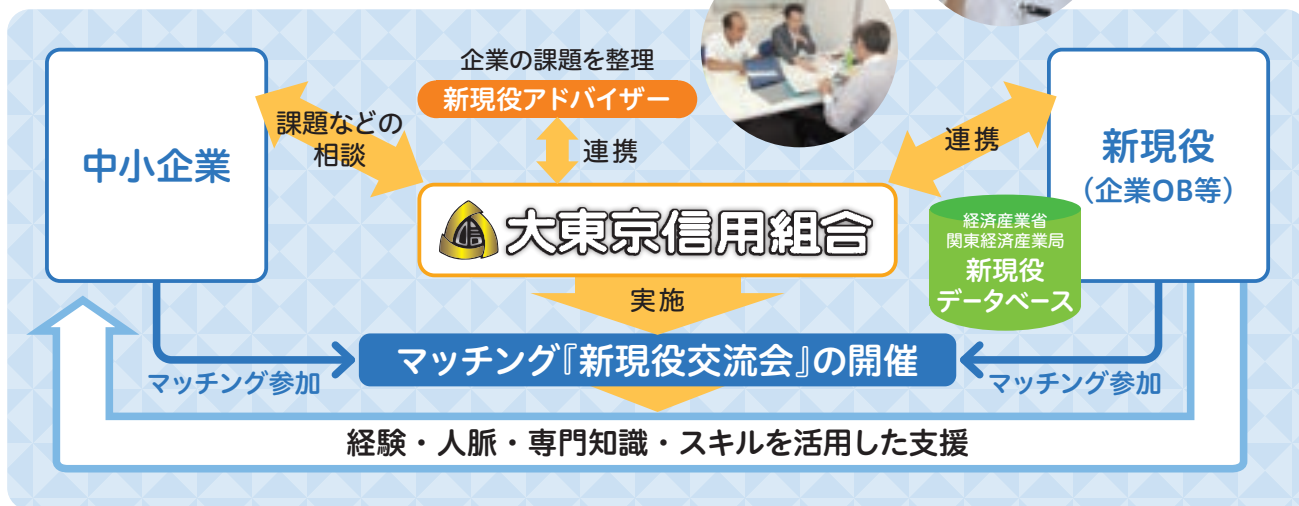
山中湖畔の大信山中荘(保養所)へどうぞ。
世界遺産の富士山と山中湖が望めます。
※新型コロナウイルスの感染状況により、営業休止することもあります。



マッチングによる事業支援の取組み

◇ 新現役マッチングによる課題解決支援

平成28年11月に信用組合業界で初めて「新現役交流会」を開催。



しん研青年部会・大信ひまわりの会 「2022ライブ配信セミナー」開催

「しん研青年部会」・「大信ひまわりの会」合同でのライブ配信セミナーが開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止及び会員の皆さまの健康・安全面を第一に考え、Zoomミーティングにて、経済ジャーナリスト・作家である渋谷和宏氏より「コロナ社会と日本経済の行方」と題しご講演いただきました。



しん研・ひまわりの会 ライブ配信セミナー

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しております。

また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

■【経営者保証に関するガイドライン】の取組み状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規に無保証で融資した件数	433	875	514
保証契約を変更した件数	0	2	2

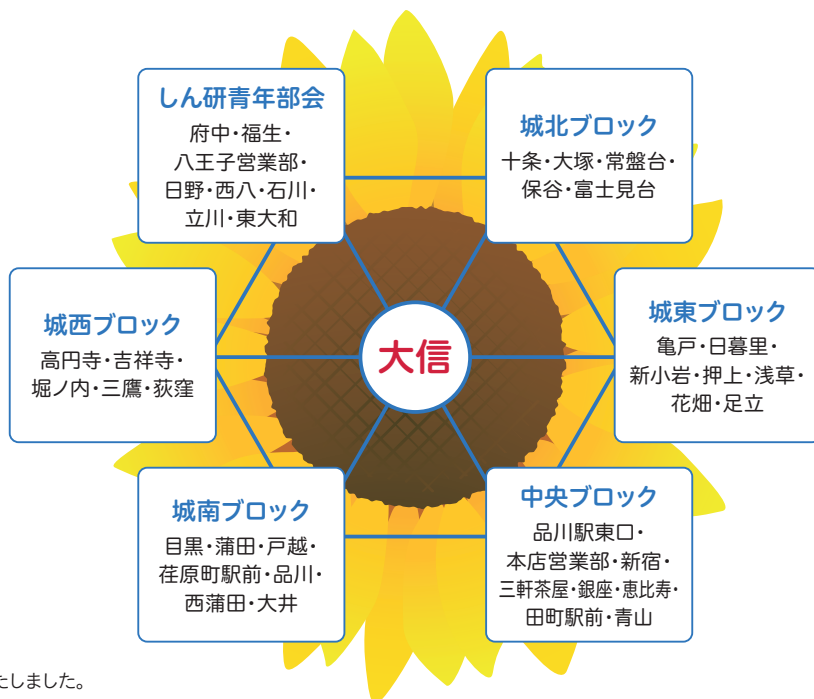
若手経営者をバックアップ

企業経営に関する会員相互の情報や意見の交換、勉強会などを通じて、各会員事業所の発展と地域社会に貢献することを目的とした「大信ひまわりの会」5ブロック(会員資格満55歳未満の経営者・後継者)と多摩地区の「しん研青年部会」(会員資格満50歳未満の経営者・後継者)の6ブロックで若手経営者の会を組織化しています。

各ブロック共に代表幹事・幹事をはじめ会員の皆さまの協力により、研修会、講演会、交流会等を開催し、会員同士の交流・親睦を図っております。

また、他ブロック会員との交流についても、「合同講演会・交流会」を開催する他、「合同ゴルフコンペ」を開催し、会員同士のマッチング等の機会を提供しています。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症防止の為、中止いたしました。



企業のライフステージに応じた取引先企業への取組み状況

1. 創業・新事業支援 (令和3年度)

● 融資実績	60件	353百万円
保証協会付創業支援融資	49件	302百万円
日本政策金融公庫との 協調創業支援融資	3件	22百万円
東京都「女性・若者・ シニア向け」創業融資	8件	29百万円

3. 外部機関・外部専門家等への 相談等対応件数 (令和3年度)

東京信用保証協会「企業サポート推進プロジェクト」	79件
東京都中小企業振興公社	15件
東京商工会議所・東京都商工会連合会	13件
東京都よろず支援拠点	2件
東京都「地域金融機関による事業承継促進事業」	43件
地方公共団体による専門家派遣	11件
東京都中小企業診断士協会	42件
士業(会計士・税理士等)他	22件
● 合計	227件

2. 経営改善・事業再生支援 (令和3年度)

- 経営改善支援取組先：63先
- 経営改善支援取組率：8.5%

4. 経営改善支援等を目的とした 融資商品取組実績累計

- 商品名：「リニューアル」・「キャピタルプラス」・
「二世帯」・「オーナー」等
- 370件 66,761百万円
(平成15年4月～令和4年3月)

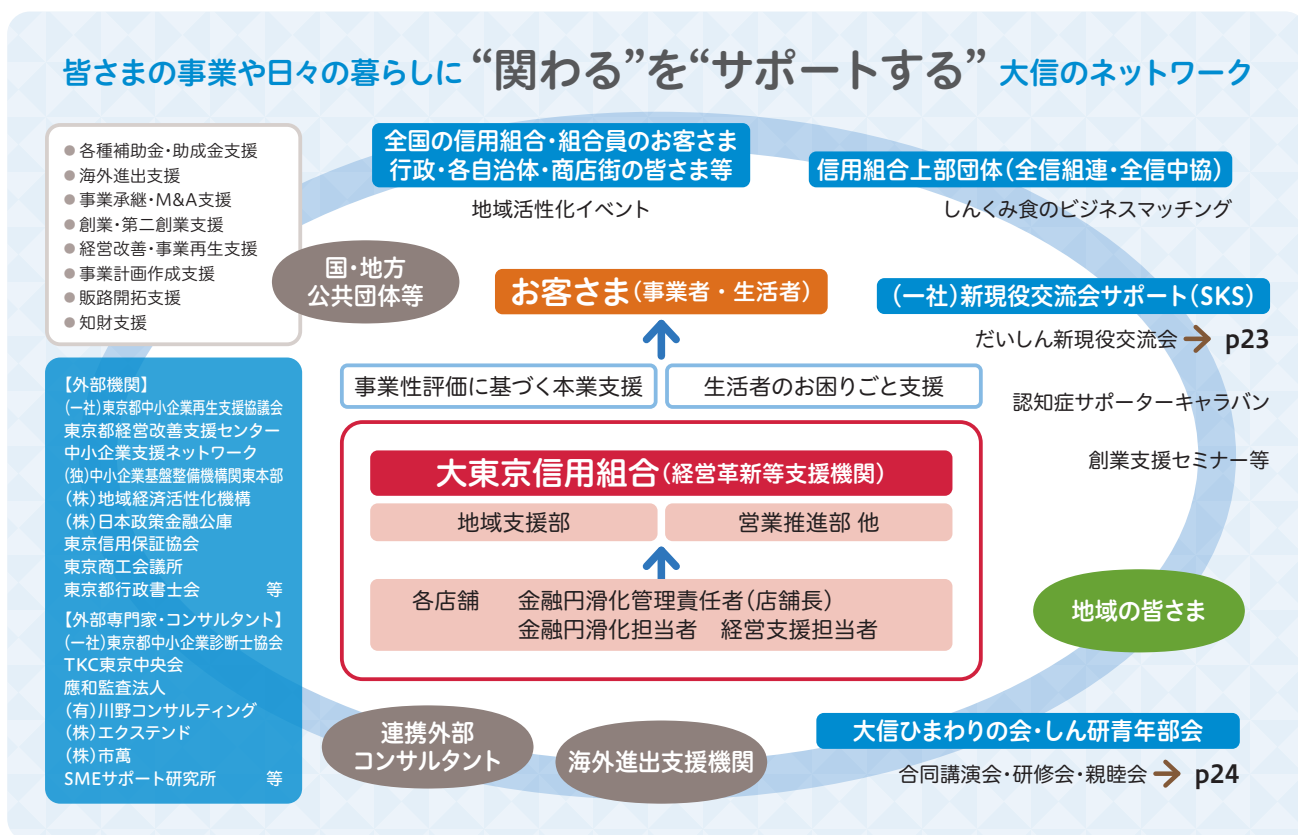
金融仲介機能のさらなる発揮に向けて

大信はお客さまとともに歩み、新たな価値を

経営課題の解決に向けた大信のネットワーク

大信は、平成24年11月に中小企業等経営強化法の「経営革新等支援機関」の第1号認定を受けました。引き続き中小企業・小規模事業者の皆さまが抱えておられる経営上のさまざまな課題に対する解決に向けたご支援とご要望に合うご提案を、大信のネットワークを駆使してご提供してまいります。

また、事業計画においても、事業性理解を通じて地域のお客さまを幅広くサポートし、地域の経済・産業活動を支えることを通じて、地域活性化につながるよう取組んでまいります。



金融円滑化への取組み

大信は、地域金融機関・協同組織金融機関として、地域の中小企業・小規模事業者の皆さまやそこで生計を営む個人の方々との関係を深め、お力になっていくことが重要な使命であると考えております。そのため、お客さまからの資金需要のお申込みや貸付条件変更等のご相談はもちろん、お客さまとのコミュニケーションを大事にし、ニーズに合ったサービスの提供や問題解決のための支援を引き続き真摯かつ丁寧に対応してまいります。

貸付条件の変更等の申込み対応

平成21年12月4日～令和4年3月31日の実行件数

中小企業者	30,957件
住宅資金借入者	1,142件

相談窓口＝お問い合わせ先

貸付条件の変更等に関するご相談は、本店および最寄りの営業店の窓口でお受けしております。
金融円滑化専用フリーダイヤル ☎0120-020-838(受付時間:当組合営業日の9:00～17:00)

～事業性理解による共通価値の創造～

創造いたします。

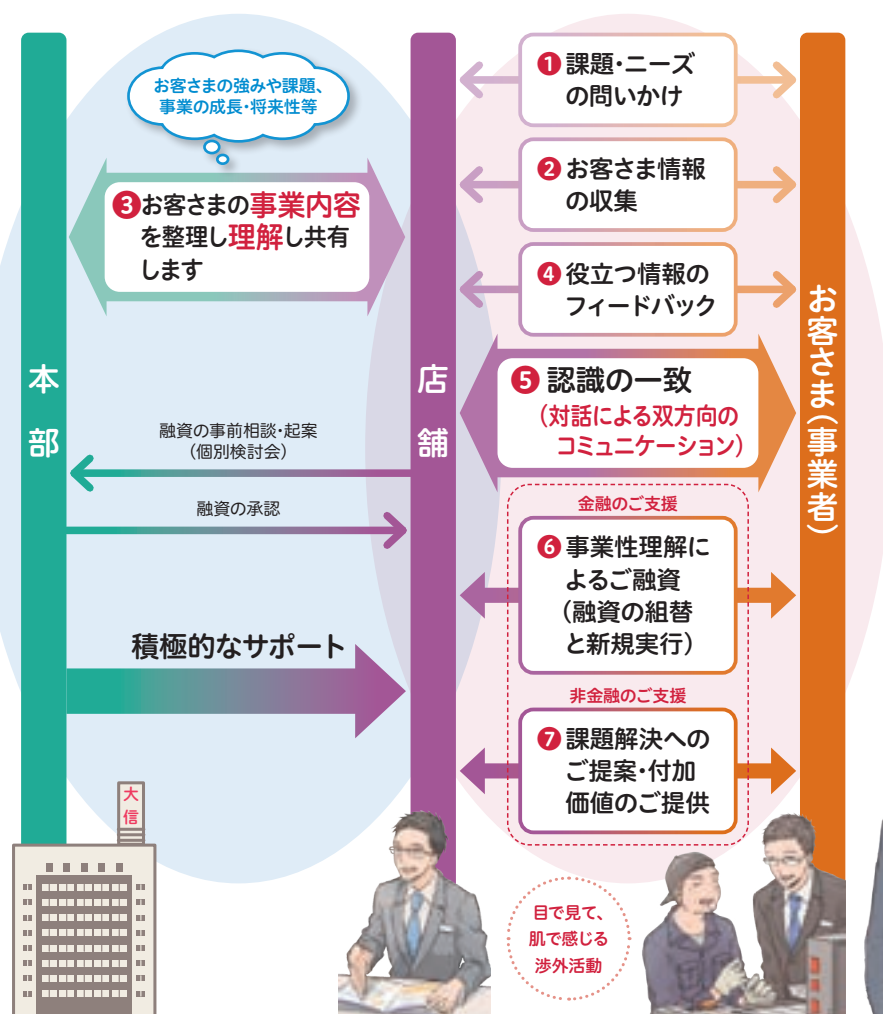
対話を通じた事業性理解への取組みについて

大信は、お客さま一人ひとりの事業に寄り添い、対話による双方向のコミュニケーションを通じて、お客さまが直面するさまざまな経営課題について解決策をお客さまと共に考え、店舗および本部が一体となってお支援させていただきます。

そのために、渉外担当者をはじめ職員一人ひとりが、日々の業務活動を通じてお客さまの事業をよく理解し、お客さまのライフステージに応じて事業に役立つ情報をタイムリーにご提供するほか、将来に亘り安定的な成長・繁栄につながる“新たな価値”をお客さまとともに創造してまいります。

事業性理解に向けた7つのプロセス ～Seven processes～

大信はお客さまの**事業を理解**し、最適なお提案に向けて
骨身をおしまず行動いたします



大信は、地域の発展とお客さまとの共通価値の創造・共存共栄を果たすべく、金融仲介機能を十分に発揮し、皆さまのベストパートナー・バンクを目指して歩んでまいります。

地域経済活性化の取組み



事業者をサポート

◇ お客さまの事業の課題解決に向けた外部専門家・専門機関との連携について

お客さまが抱える悩みや課題に合わせ、外部専門家・専門機関と連携しながら、解決に向けた伴走型支援を展開しています。

取組み事例

東京都中小企業診断士協会

① うどん専門店を営む取引先

業況順調に推移していたが、コロナ禍により、ランチタイムのみの営業となり売上が大幅に減少。経営改善に向けて中小企業診断士を派遣し、経営者一族との面談及び財務内容等企業分析を行った結果、改善に向けては事業承継にも課題があることが判明。喫緊の課題である収益改善策に取り組むと共に、事業承継促進事業を活用し、経営者とベクトルを合わせたなかで、支援継続に取り組んでいる。

③ 解体工事業を営む取引先

今後、ドローンを活用した事業展開を模索しているとの相談を受け、経営支援事業の一環である、“だいしん新現役交流会”を案内。しかし、コロナ感染拡大により中止となったため、改めて相談内容を精査した中で中小企業診断士を派遣。様々なアイデアやアドバイスにより引き続き支援してほしいとの要望があり、専門家と民々契約し、新たな事業展開に取り組んでいる。

② Webデザイン業を営む取引先

新たな取引先を増やすため、営業形態の見直しが必要となることから、中小企業診断士を派遣。当組合担当者を含めた数度の面談により企業内容等を確認する中、同先の課題等が改めて浮き彫りとなった。それにより、経営者自身もやるべきことが整理され明確化したことから、引き続き、専門家派遣を継続して経営改善に向けた事業計画の策定に意欲的に取り組んでいる。

④ 中華料理店を営む取引先

地域住民の高齢化もあり、来店客が減少傾向にあったところ、コロナ禍により売上がさらに減少。事業継続に向けた経営改善と事業承継に関する相談を受け、中小企業診断士を派遣。専門家のアドバイスにより、経営を新代表者に全面的に承継することができた。現在、新代表者の下で地域の特徴を活かした売上拡大に取り組んでいる。

地方公共団体・商工会等

⑤ 日本茶専門店を営む取引先

コロナ禍により、葬儀の縮小化が進みお茶の売上が低迷。その改善策として、お茶を使った生カステラの開発を検討。開発計画の相談を受けた当組合担当者のアドバイスも採り入れ、ヒット商品が誕生。また、その販路拡大のために区の専門家を紹介。商談会への参加を提案され、大手スーパーとの商談が成立するなど、商品開発・販路拡大に繋がった。

⑥ 美容室を開業する取引先

自分の店を持ちたいとの思いから創業を決意し、当組合へ相談。美容師としての技術はあるものの、経営に関する知識が無く不安を抱えていたことから、東京商工会議所を紹介。創業計画書の作成支援、更には開業にあたり店舗や工事業者を紹介するなど、継続的な支援を行ったところ、創業への不安が解消され、開業に向け取り組んでいる。

事業再構築補助金

⑦ ドイツ料理店を営む取引先

コロナ禍で客足が減少傾向にある中、「自家製ソーセージを自宅でも味わって頂きたい」との店主の想いを叶えるため、冷凍自動販売機導入の相談を受ける。導入に向けて、事業再構築補助金の申請をすることとなり、外部専門家を派遣。自動販売機での販売が知名度の向上、客足の増加に繋がるとの内容で申請。結果、採択となり、新たな販路拡大に繋がった。

⑧ お好み焼き・もんじゃ焼き店を営む取引先

コロナ禍を機に、昔からの夢であった「日本料理店」へ事業転換したいと相談を受ける。事業再構築補助金を活用するため、申請に向けて、外部専門家を派遣。20年以上店舗を構えて培ってきた地域との繋がりと日本料理店への転換という話題性により、十分な集客を見込めるとの内容で申請。結果、採択となり、経営者の夢が叶う事業転換に繋がった。

◇ だいしん地域応援！助け合いプロジェクト

だいしん地域応援！助け合いプロジェクト“行って買って使って応援し隊”では、お客さまの商品・製品・サービス等をご紹介します。

令和2年7月に発行を開始し、Vol.6まで発行したのち、お取り寄せ特集や、各ブロック（城北、城東、城西、城南、中央、多摩）の地域版を発行しました。現在は、お住まいあるいはお勤め先の地域にあるお店や事業所を探しやすいよう、各営業店の周辺を特集したのも発行しています。



現在までに発行しているものは、当組合のHPに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

大東京信用組合 検索



する取組み

◇ お客さまの販路拡大・売上向上等を応援する!“だいしん”ビジネスマッチング掲示板

ビジネスマッチング掲示板は、お客さまの「商品・製品をPRして販路を拡大したい」「こんな商品・製品・事業者を探している」等のニーズにお応えするため、当組合のイントラネットに開設した掲示板です。

掲載された情報は、全店舗で共有され、ニーズに合ったお客さまをご紹介しますことで、お客さまのビジネスチャンスの創造と販路拡大を応援しています。

掲示板を利用した販路拡大の事例

- 下町の商店街で居酒屋を営むお客さまより銘柄豚仕入の相談を受け、ビジネスマッチング掲示板への登録をご提案。
- 銘柄豚仕入希望の情報をビジネスマッチング掲示板に登録し、全店舗で情報を共有。
- 掲示板を見た他店舗が、銘柄豚を取り扱う食肉卸売業の事業者をご紹介します、**成約**に繋がる。

掲示板に登録された情報は、随時、担当者および窓口を通じて、“Matching Information”と題したリーフレットでお客さまにご紹介しています。紙面には、掲載企業のホームページをスマートフォンで閲覧できるよう、二次元コードも掲載しています。



現在までに掲示板にご登録いただいているお客さまを業種別(食材関係、雑貨・衣料、製造業、業務器具、広告宣伝・IT・印刷、建設・建築物、その他)に分類し、ひとつにまとめたものを渉外担当者が携行しています。詳しくは地域の担当者まで、お尋ねください。

掲示板を活用し、令和3年度は21件のマッチングが成立しました!



◇ ランチプロジェクト

ランチプロジェクトは、飲食業を営むお客さまから、役職員がお弁当等を購入し、応援するもので、現在も本部及び各営業店において継続的に実施されています。

昼食用のお弁当だけでなく、自宅で楽しめる様々なものをお取り寄せして応援することもあります。

お客さまの自慢の一品を担当者以外の職員も知ることができ、職員の間でも好評です。



◇ オンライン勉強会

お客さまが抱える様々な経営課題等の解決に向け、直接お客さまと接する営業店職員のレベルアップを図るために、本業支援に関わるテキスト・論説等の素材を基に作成した教材を使用し、定期的にオンライン勉強会を開催しています。

1回ごとにテーマを定めて、実践的な内容のほか、他金融機関や他業種における参考事例が紹介されるなど、知識の向上はもちろんのこと、本業支援に対する意識の醸成にも繋がっています。

また、外部機関からゲストをお招きし、ツールやノウハウをご教授いただくこともあり、知見を広げる場となっています。

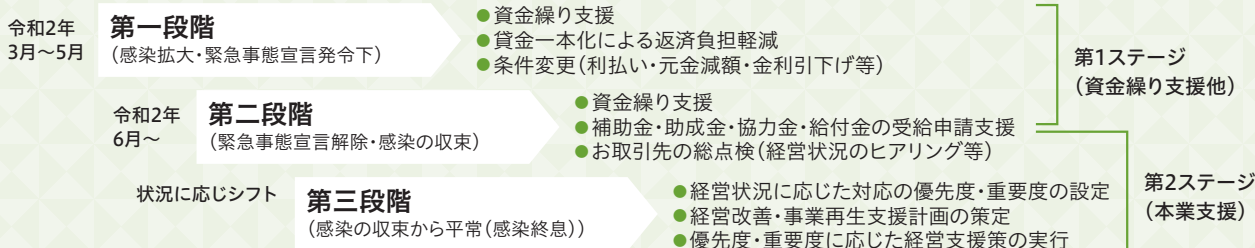


事業先の資金繰り対応と連動した本業支援活動の強化に向けて — 「新型コロナウイルス感染症対応プロジェクトチーム (略称:コロナ対応PT)」を設置 —

【新型コロナウイルス感染症に対するお取引先支援及び態勢整備】

お取引先への本業支援(共通価値の創造)

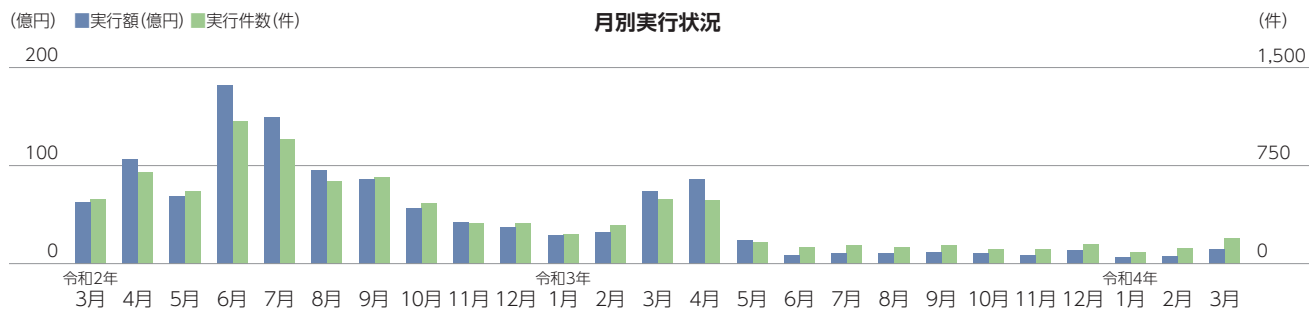
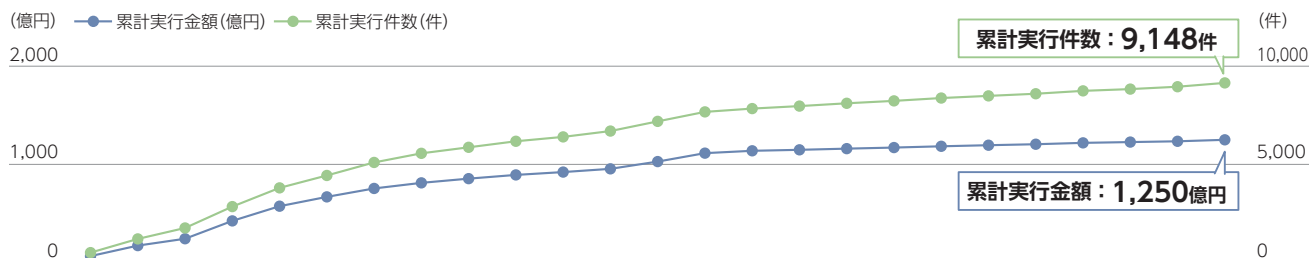
- 感染拡大時における、第一段階では、事業継続と倒産防止のための金融支援に積極的に取り組みます。
- 危機収束に向けて第二段階以降は、金融支援に加えて非金融型の本業支援が主体となりますことから、これまで以上に、ヒアリングを通じた事業性評価により経営者の皆さまと課題・問題を共有し、ハンズオンでの伴走型支援を展開いたします。



こうした各段階の取組みこそが、当組合が目指している事業性評価を基にした「良質な金融仲介機能の発揮=本物のお客さま本位による良質なサービスの提供」そのものです。

- 主な本業支援策 ①販路開拓支援 ②リストラ型事業再生支援 ③事業承継支援 ④その他支援(IT化・情報発信、大信ネットワークの活用、等)

金融サービスを通じたご支援 (感染症関連融資の取組み実績)



◇「新型コロナウイルス感染症の影響に係るご相談窓口」の設置

令和2年2月21日より、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるお客さまからの資金繰り等、ご融資全般に関するご相談にお応えするため、全店舗に相談窓口を設置しています。

お客さまサポートと 感染防止への取り組み

大東京信用組合は、今こそお客さまならびに地域の皆さまに寄り添い、協同組織金融機関としての使命を果たすべく、お客さまの資金繰りや事業継続のご支援を最優先課題として取り組んでまいります。

◇ 本業支援の推進に関する意見交換会

大信では、令和2年度より、本業支援を最重要課題とし、本部・営業店が一丸となり、お客さまに寄り添った支援に取り組んでいます。

令和3年度には、より機動的な本業支援への取組みをめざし、定期的に地域支援部と営業店による“本業支援の推進に関する意見交換会”を実施しています。本意見交換会では、個別の案件に対する進捗状況の確認のほか、営業現場の課題や好事例の共有など、営業店同士の情報交換の場にもなっています。

◇ 都内全19信用組合および東京都信用組合協会との連携協力に関する協定の締結

令和3年10月、上部団体である一般社団法人東京都信用組合協会(以下、都信協という)主催で「新時代(アフターコロナ)に生き残る事業者支援連携プロジェクト会議」が発足されました。当プロジェクト会議は、「コロナ禍で苦境の組合員事業者に対する事業支援活動の拡充」をテーマに全6回の協議を重ね、令和4年4月に答申が行われました。その会議における都内信用組合が相互に連携を強化していくことが重要であるとの議論を踏まえ、都内全19信組および都信協は、地域社会の発展や組合員の幸せに一段と貢献することを目的として、相互の連携協力に関する協定を締結しました。

◇ お客さまに安心してご利用いただくための取組み

大信は、東京都が策定した「事業者向け感染拡大防止ガイドライン」に基づく感染防止対策を徹底しています。

- 「新型コロナウイルス感染症に係る対策本部」を設置(令和2年2月27日)
- 「新型コロナウイルス感染症対応基本計画書」および「業務継続計画(BCP)」の暫定版を策定
- 「感染防止徹底宣言ステッカー」の店頭掲示(令和2年9月15日)
- 全職員に出勤前の健康チェックと業務中のマスク着用の徹底
- 利用者用の消毒備品等の設置
- 店舗内施設・設備の定期的な消毒・換気の実施
- 店舗の受付カウンター・応接室に「飛沫防止スクリーン」を設置
- 大型空間除菌脱臭機の設置
- ハンドタオルディスペンサーとペーパータオルの設置
- 聴覚障がい者に配慮した「近大マスク」の活用
- 体温測定装置・消毒液ディスペンサーが一体となった「けんたろうさん」の導入



〈近大マスク〉飛沫を防ぎつつ、口元が見えることで、聴覚障がい者の方とのコミュニケーションが取りやすくなるマスク。



大信の取組みを知る編

お客さまサポートと 感染防止への取組み

P.30～27

- 事業先の資金繰り対応と連動した本業支援活動の強化に向けて
—「新型コロナウイルス感染症対応プロジェクトチーム(略称:コロナ対応PT)」を設置—
- 金融サービスを通じたご支援
- 事業者をサポートする取組み



地域経済活性化の取組み

P.26～23

- 対話を通じた事業性理解への取組みについて
- 経営課題の解決に向けた大信のネットワーク
- 金融円滑化への取組み
- 若手経営者をバックアップ
- 企業のライフステージに応じた取引先企業への取組み状況
- マッチングによる事業支援の取組み
- しん研青年部会・大信ひまわりの会「2022ライブ配信セミナー」開催
- 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み



個人向けサービスのご紹介

P.22～21

- 大信では、お客さまのライフステージに応じてさまざまなサポートを行っております。
- いろいろお得な大信すえひろ会



お気軽にご相談ください

「お客様相談室」を設置してお客さまからのお問い合わせや
ご相談などに真摯にお応えできるよう態勢整備に努めております

INDEX

目次

お客さま満足度向上と お客さま保護の取組み

P.20～19

- お客さま満足度向上の取組み
- お客さま保護に関する取組み



人材育成に関する取組み

P.18～17

- 職員の能力アップへ向けた取組み
- 第3期「しんくみ経済塾」開講
- 女性活躍推進への取組み
- ワーク・ライフ・バランスへの取組み



社会貢献活動

P.16～15

- 一般財団法人あすなる会
- 地元に着目した地域貢献活動
- 柳沢会長、3大学で信用組合の役割を講義
- ～社会人向け生涯学習への取組み～
内田理事長母校明治大学で特別講義



大信のSDGs宣言

P.15

- 東京都内全19信用組合・東京都信用組合協会「SDGs共同宣言」について
- ESG投資の実施



一般の
ご相談

フリーダイヤル

0120-402-003

受付時間

当組合営業日の9:00～17:00



大信は、お取引の店舗窓口でご相談等をお受けするほか、本部でも、お客さまとのホットラインの役目を担う「お客様相談室」を設置し、お客さまの声をお聞きしております。お客さまが、安心してお取引いただけるよう、信頼関係強化に努めておりますので、お気軽にご相談ください。



大信の取組みに
ついては
こちらから

大東京信用組合 2022年3月期 ディスクロージャー誌 〈情報編〉

大信 Report

2022

大信の取組みを知る編

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

